

お西さん

2000
7-8



函館・立待岬

「誰しもが通る 道なればこそー。」

老人六歌仙 仙巖和尚作

【身】

一、手はふるう 足はひよろめく 齒は抜ける
耳は聞こへず 目はうとくなる

二、しわがよる ほぐろができる 腰かがむ
頭がはげる 髪白くなる

三、身に合うは 頭巾 襟巻 杖 めがね
数珠と温石 尿管 孫の手

【口】

四、くどくなる 気短になる 愚痴になる
出しゃばりたがる 世話やきたがる

五、またしても 同じ話に 孫ほめる
達者自慢に 人をあなどる

【意】

六、聞きたがる 死にともながる 淋しがる
心がひがみ なお欲ふかくなる

「心して歩ゆまん 我が道を
理解して和まん くつろぎの住家に」

お盆参りのため7月10日(月)~17日(月)、26日(水)~31日(月)まで、
月忌参りはお休みさせていただきます。

ふれあいの寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

「覚信尼会創立二十周年記念旅行に参加して」

見付 由紀子

覚信尼会創立二十周年の記念として、三泊四日で本山参りを企画しました。参加者は鷺山輪番、神田副輪番、会担当の吉村参勤と会員七名、計十名で六月一日に出発しました。見学先は輪番さんのご案内ですべておまかせしました。

まず飛騨高山の真宗大谷派真蓮寺を訪問しました。そこは中村久子さんゆかりのお寺で、



脱疽と言う大病で、四肢切断と云う私たちの想像を絶する障害を背負い、苦難の道を歩まれた方でした。それにも関わらず口に筆をくわえて、見事な字や絵を描き、また針をくわえて着物を縫い、刺しゅうをし、お人形を作られたとのことです。お寺にはたくさん作品が展示されてありました。

次に岐阜別院ですが、その本堂は昭和二十六年に竣工したものだそうで、その荘厳さ、また広い敷地にはただただ驚きました。

山科別院は、十七代法如上人の時代に一七七二(安永二)年現在の本堂が建立されたそうです。本願寺中興の祖と仰がれる蓮如上人ゆかりの聖地であり、私たちには歴史の重さが心に伝わってまいりました。

最後に本山のおあさじにお参りしました。お寺さんが二十人くらいと三百人あまりの御門徒方がおられ、皆で読経する声が堂内いっばいに響き渡り、何ともいえないすがすがしい気持ちになりました。本当に有り難いことです。

私たち門徒は、日々お念仏を相続すると共に仏教婦人としての自覚を持って過ごしたいと思っております。知識を広めることが出来、



大変有意義な旅行でした。また近いうちにもっとたくさんの方の皆様と行けたらと思っております。

合掌

みほとけに 抱かれて 生く

今日の 幸せ



お盆まいり

◆とき／平成十二年

七月十日(月)～

七月十六日(日)

※本院納骨堂及び台町墓地は
十日より十六日までお勤め
いたします。



婦人会の方々が十三日(木)に
仏花・ローソク・線香・飲み物などの
ご用意をいたします。どうぞ御利用下さい。

初盆法要

◆とき／平成十二年

八月五日(土)

午後一時三十分より

◆場所／文化会館にて

◆法話／鷺山輪番

平成十二年八月より
今年お盆までの
物故者の追悼
法要です。



盂蘭盆会

◆とき／平成十二年

八月十三日(日)

午後一時三十分より

◆場所／文化会館にて

◆法話／胆振組

藤森晃道氏

西別院門信徒の
物故者の総追悼
法要です。



龍谷大学 男声合唱団 音楽会

◆とき／平成十二年九月五日(火)

◆場所／文化会館にて

※時間等は未定ですので別院までお問い合わせ下さい。



■お供物についてのお願い■

墓所においては、カラス・キツネ等のイタズラが激しく、墓所の美観を損ね、
納骨堂においては時節から生菓子、供花の腐乱が著しい故、お供物は読経
(お参り)を終えられましたら、ほとけ様からのおさがりの品々ですので、
必ずその場でお食べになるか、持ち帰られます様お願いいたします。



●「お久しぶりです」

東川町にお住まいの鈴木さんのお宅に何年かぶりに、先日お伺いをさせていただきました。私が台町出張所にいるときにお参りをさせていただいておりまして、かれこれ五年ぶりくらいでしょうか、その当時とお変わり無くお元気なお顔を見せて頂き、お参りの後少しお話をさせていただきました。驚きでした。「今年で九十五歳になったんですよ。歳のせいで足がなかなかいいことをきかなくなつて。」とにこにこ、いいお顔で話して下さいました。

どんなに良い機械でも長年使っているとあちこち故障が生じると一緒で、私たちの体も何十年もたつと、各所に障害が出てまいります。年齢を重ねること、いろいろな表情が出てくることをおぼあちゃんとの対面で見み感じさせていただきました。お身体に気をつけてお念仏して下さいね。

(神田)

●「お念仏の旅」

六月二日から四日まで別院の教化団体であります覚信尼会(若婦人会)の会員七名と会創立二十周年の記念旅行に行っていました。私が普段お参りにお伺いしております、松川町の見付会長さん、小関副会長さん、宮前町

の田島さんも一緒でした。

岐阜別院や山科別院、大谷本廟にも参拝させていただきました。数年前にお参りさせていただいたご本山のお晨朝では、別院のお晨朝とはまた別な意味で、すがすがしい中にも緊張感のある有り難い縁でございました。

そしてこの旅行で一番心に残ったのは、何より飛騨高山の中村久子女史ゆかりのお寺、大谷派真蓮寺によせて戴いたことです。四肢切断するという大変な障害を持ちながらもお念仏を喜ばれ、お念仏に生かされた久子女史の生涯の一端を觀せて戴き、あつて当たり前ではない我が身をよるごお念仏に生かされている人の、荘嚴された人生のすばらしさに気付かされたことでした。

(吉村)

●「納骨を機縁とつな」

今回は、東雲町にお住まいの堀川さんを紹介いたします。堀川さんは、五月の連休を利用してご家族皆さんで京都のご本山へ参詣され、大谷本廟で御両親の納骨をされました。行かれる直前には、綿密な計画をたてられ、宿舎の手配などお手伝いをさせていただいた私も、堀川さん一家と共に旅行をしたような気分させていただきました。堀川さん、すてきなおみやげとお話本当にありがとうございました。

なかなか家族そろって旅することができない昨今ですが、本当に有意義な二時を過ごされたことと思います。親鸞聖人のご遺徳を慕い、その廟所に納骨され御両親もさぞ御満足であろうと拝察いたしております。秋にもまた行きたいとおっしゃっていましたね。秋の京都も紅葉が映えてとても素晴らしいですよ。

(野田)

●「嫁入り道具」

弁天町の沢株さんの店先に、綺麗なつぼみを沢山付けた鈴蘭が置いてありました。お参りさせていただいてから「一株分けて下さい」とお願いしてみたと、早く分けて下

さいました。「二十数年前、この家にお嫁に来たときに数株、持ってきたのよ」とおっしゃって、手作りプランターからすこし分けて頂きました。これらの思い出深い鈴蘭は、台町出張所で大切に育てていきたいと思えます。沢株さんから頂いた優しさもいっしょに……

(高倉)

●「かわいい仏の子」

今回は日吉四丁目にお住まいの高島さんを紹介させていただきます。高島さんは数年前にお母様を若くして亡くされてから、別院よりお参りさせていただいています。現在は次男の方がお仏壇をお持ちになられていますが、ご命日にはご結婚されたお姉さんもお参りに来て下さいます。最初にお参りにお伺いした頃には子供さんは二人もおられませんでした。今は、小さな子供さんも一緒にお参りさせていただいております。まだ0歳の子供さんも一緒ですが、一家全員お念珠を持ちお参りされる姿はとて有り難くまた暖かく感じます。このように小さいときからお参りさせていただくことはとても大切なことだと、私はそのあたたかさの中で感じさせていただきました。

P.S.しかし、子供三人のうち必ず一人が泣き出してしまふのは、私が怖いからでしょうか?

(石黒)

●「故郷(こきよ)のね」

大繩町にお住まいの辰宮キヨさんのお宅へ、五十回忌のご法事にお伺いしました。普段は一人でお住まいですので、月忌参りの時はキヨさんと二人でお勤めさせていただいているのですが、この日は子供さん、お孫さん、合わせて二十名近くお集まりでした。

「今日はずいぶん賑やかですね。」

「はい、みんな集まってくれて、ありがたいことです。」

そうお話しされるお顔は、本当に嬉しそうでした。久しぶりに実家へ集まった、懐かしい顔、顔……。みなさんが一同に集まってお仏壇にお参りさせていただく縁を、キヨ

さんのお父さんが、五十年たった今でも、こうして結んでく
ださっています。脈々と受け継がれていく「いのち」を改め
て味わせていただいたことでした。(石神)

●「かたじけなく」●

おつとめさせていたかどうかようになって「一月が過ぎまし
た。お参りに寄せていただいた中で、美原二目にお住まい
の石井さん宅に寄せていただいた時のことでもあります。石
井さんは五月に降誕会にお参りになり、同時に初参式に
も一歳になるお子さんと参拝されたことです。初参式には
御輪番より子供さんたち二人一人に手渡された式章をつけ
手には小さなお念珠を持っていました。式章は首にかける
というより、その輪の中にすっぽりと入っているといった感
じであり、手に持っているお念珠も手が小さいためかどて
も大きなお念珠を持っているようでありました。お母さん
の膝の上にもちよんと座って満足そうな顔をした朱くんと
一緒におつとめさせていただきましたが、何ともかわいらし
い格好でありましたが、本当に有り難いことでありまし
た。お母さんと子供さんが一緒にお念仏の声を肌で感じら
れている姿に思わず合掌する私でした。(毛利)

●「迷」●

台町出張所のある日、三十才ほどの女性が埼玉から二人
で訪ねて来られました。何でも十五年ぶりだそうで、わず
かな記憶を手掛かりにやつとの思いでお墓にたどり着き
ました。お参りの後、その方が言われるのは「人に信じ
てもらえないような嫌なことが次々と起こるので占いで見
てもらおうと、お墓参りに行くよう言われたんです。これで
解決したかは分からないですけど、おかげで本当にスツキ
リしました。」と。

私たちには、どんなに正しい言葉も受けつけられないほ
ど、どうしようもなく迷いに振り回されてしまうことが
あります。あれから二か月。この方のつらさをただじつと聞

いてあげるぐらいのことを、なぜあの時しなかったのかとい
う後悔が、今なお私の心に残っています。(平田)

●「EARS」●

函館別院に参りまして、二ヶ月がたちました。長く京都
に住んでおりましたので、北海道の初夏は涼しく、心がさ
わぎます。この六月の本州は、じめじめした梅雨の時期なの
で、あらためて北海道の今の時期はさわやかさを感じます。
今回紹介させていただきます御門徒さんは、神山町の
新谷さんですが、私と同じ小樽出身で同郷の方です。う
れしいものです。新谷さんが住んでいた頃の小樽の話な
どを聞かせていただくと、よりなつかしさを感じます。ま
た偶然にも私の高校の大先輩にもあたりますので、随分
と勇気づけられます。これからも仏縁を通して、皆様との
出会いを大切にしていきたいと思えます。(上野)

●「庭」●

緑からの木漏れ日がまぶしい季節となつてまいりました。
お参りに寄せていただくと、皆さんお庭を本当に立派に
されておられるのが目に付きます。深堀町の北村静さん
のお宅にもすばらしいお庭がありました。少し前までは
ご自分でお手入れをなさっていたそう、高いところもは
しごに登ってされていたそうです。

「腰を悪くしてからはなかなか出来なくてねえ…。みっと
もなくなくなってきました。」とおっしゃっていましたが、見せて
頂いた限りではそんなこともなく、細かいところまで本当
にきれいにされてました。

以前、お庭は家の顔である、と聞きました。常に気持ち
よくしておき、突然のお客様があつても気持ちよくお迎え
できるという心遣いを見せて頂き、私もまた見習い、常に
わが身をかえりみて威儀を正していこうと思えます。

(八木)

新任挨拶

「お育てよろしくお願ひします」



やぎ こうじろう
八木晃紹

お念仏薫り、緑あふれるこの函館の地に、はるば
る遊賀よりこの五月によせて頂きました。早速お
参りにお伺いし、「函館はいい所よ。これからは時期
もいいしね。冬は大変だけと頑張つてね。」と勵まし
のお言葉を頂いたり、先代様が遊賀出身という話
をお聞かせ下さつたりと本当に温かく歓迎して下
さいます。有り難うございます。

これからも皆様にお育て頂き、日々お念仏の生
活を送らせていただけるようつとめさせて頂きたい
と思ひます。よろしくお願ひいたします。

乙女のつぶやき 《事務員日記》



毛利作

晴れの日には健やかに
雨の日には爽やかに
背筋をのびして凛々と
笑顔で明るく元気よく
”おはようございます!”
(山崎)

お西さんの 盆おどり

◆とき／平成12年
7月29日(土)

午後6時より

◆ところ／西別院境内にて

雨天決行
雨天時は
文化会館にて



盆踊り大会を龍谷幼稚園と合同で開催します。ご家族そろってご参加下さい。お盆提灯をご進納いただいている皆様には昨年の通り、献灯料を1個1,000円をお願いいたします。また新たに提灯をご進納下さる方は、1個3,000円ですので、ぜひともお上げ下さい。



川股三弦会の皆さんの演奏

降誕会

スナツプ集



「初参式」
みんないとお顔だね!



「園児参拜」
「しんらんさま」おめでとう



佐々木久子さん講演会

お寺へ行くこう

ようこそ常例布教へ

(七月はお盆会のため、お休みいたします)
 八月十三日(日) 胆振組
 十五日(火) 本教寺 藤森 晃道氏
 十六日(水) 親鸞大学 [十四時より]

土曜の会へ行こう

●七月はお休みします
 ●八月二十六日(土) (午後一時三十分より)
 会場 日吉町熊合宅にて
 お問い合わせ ☎(0138)54-6859

浄書(写経)の会

●七月三日(月) (午前十時より)
 ●八月七日(月) 会場 別院内堂にて
 ※初めての方も気軽に参加下さい。

お悔やみ申し上げます

永代経懇志
 ありがとうございます

「十六日会」への誘い

毎月十六日の親鸞聖人の御命日には十二時三十分よりご門徒の皆さん手作りのお齋をいただく「十六日会」があります。毎月当番でいろんなメニューが出てくるのですが、どれをとっても実においしく、毎月がとても楽しみです。皆さんでおいしくお齋をいただいた後は、宗祖聖人御命日法要に参拝し、渡辺先生の「親鸞大学」で浄土真宗のみ教えを勉強する、本当に有意義な一日です。まだいらっしやったことのない方は、ぜひ一度顔を出してみして下さいね。
 (七月はお盆会のため、お休みいたします。)



両館別院開基百四十五年慶讃法要、蓮如上人五百回遠忌法要の為七月一日より十月頃まで本堂修復工事に入ります。ご迷惑おかけ致します。

平成十二年六月二十二日 午後二時二十二分に
 両館別院に御縁の深かった 大谷嬉子 前裏方様が
 御逝去されました。尚、葬儀は七月二十五日午後二時より本願寺総御堂にて執り行われます。

第2回輪番杯 ゴルフコンペ

教化サークル・御門徒さんとの親睦を深めるべく、6月29日(木)、仏教青年会協賛第2回輪番杯ゴルフコンペが開催されました。大混戦の中、両館リスロンの大黒廣二さんが見事V2の栄光を手に入れました。競技の結果は次の通りです。

優勝	大黒廣二
準優勝	小林忠夫
1位	野呂信詞
2位	成田敏夫
3位	戸田光男

編集後記

▼函館に来て七月で早二年。ようやく心持ち慣れたおかげか、函館山の美しい緑の樹々にゆっくりと心をとどめることができます。悲しい時や思い悩む時、自分をとりまく自然がいろいろ語りかけてくれます。真夏に向かうこの季節も、あらゆるいのちに支えられていることに手を合わせたいものです。
 (野田)

▼「ブッタとシッタカブッタ」という本があります。そこには、登場してくるブタ(シッタカブッタ)を通して、ありのままの自分を受け入れ、そのまんまの自分を見つめることで気持ちが楽になるよ、ということが書かれてあります。これからお西さんを通して、一時の安らぎをお伝えしていければいいなあ、と思います。よろしくお願いします。
 (八木)

●テレフォン法話順番表●

- 7月 2日(日)～ 7月 8日(土)→毛 利 ● 8月 6日(日)～ 8月12日(土)→副輪番
- 7月 9日(日)～ 7月15日(土)→平 田 ● 8月13日(日)～ 8月19日(土)→野 田
- 7月16日(日)～ 7月22日(土)→上 野 ● 8月20日(日)～ 8月26日(土)→希教徒
- 7月23日(日)～ 7月29日(土)→八 木 ● 8月27日(日)～ 9月 2日(土)→吉 村
- 7月30日(日)～ 8月 5日(土)→輪 番 ● 9月 3日(日)～ 9月 9日(土)→高 倉

お西さんテレフォン法話

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

☎ 0138 27局 2424番

学校法人

龍谷幼稚園便り



みんなで祝おう
誕生会

毎月一回、お遊戯室で行われる誕生会は、お楽しみが盛りだくさんです。

誕生会の日、誕生児は登園してくると、先生に「おめでとうパッチ」を胸につけてもらいます。すると、他の子ども達からは「いいな、〇〇ちゃん。」という声が聞こえてきます。

誕生会が始まると、誕生児は自分の名前を呼ばれて、舞台上に元気よく登場します。ちょっぴり緊張して、照れながら登場する子ども中にはいますが、どの子の顔もにこにこ嬉しそうです。

誕生児が全員登場して、園長先生のジェスチャーや小道具を交えた楽しいお話が始まると、子ども達の顔からは、自然にえみがこぼれます。お話が終わると、誕生児は園長先生からプレゼントをいただきます。

その後、質問コーナーや先生方の出し物を見たり、みんなでお祝いの歌をうたったりして楽しい時間を過ごします。

お昼は、お母様方の手作りのおいしいごちそうをいただいて、誕生会は終了します。



預かり保育 **さんさん 燦燦** クラブ ご案内

- ◎お仕事をしているお母さんのために
- ◎用事でしばらくみて欲しい人のために
- ◎幼稚園の保育がすんだあと夕方6時30分までお預かりします

- ★対象 龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- ★担当 幼稚園の先生
- ★内容 保育終了後毎日/幼稚園振替日 夏・冬休み
- ★保育料 園までお問い合わせ下さい